キャッシュレス決済について

町長 普及に向け利用促進を行う

◆吉田　太郎　議員

消費の活性化、マイナンバーカードの普及促進、キャッシュレス決済基盤の構築を目的とする「マイナポイント事業」が行われている。

問　商工事業者のキャッシュレス決済の推進は。

答　町内の半数程度の店舗が電子決済を導入されているが、少ない状況にある。消費者側も電子決済使用は限定的なところもある。今後商工事業においてIT化やDXの取り組みは必須である。まずはキャッシュレス化の普及利用促進事業を行う。

問　プレミアム商品券の電子商品券型発行は。

答　新しい生活様式として電子商品券の取り組みは大変有用であると考える。商工会とも協議を行い、出来る範囲で行っていきたい。

昨年のプレミアム商品券

有害鳥獣対策は

町長 駆除や柵の補助事業も継続

鳥獣による農作物の被害が増加し、区や地域単位に鳥獣防護柵の設置が進められてきた。

問　鳥獣防護柵の設置状況と今後の方針は。

答　柵の設置は平成24年から始まり、今年度実施で町内総延長13・113キロメートルとなり、5月に県へ実施計画の承認申請、9月より設置を始め12月に完了予定である。また、柵の補助事業も継続予定である。

問　野鳥や小動物による被害は。

答　駆除は猟友会に委託し、本年3月「養老鳥獣被害防止計画」を改定し、捕獲対照にアライグマとドバトを加えた。猟友会の活動の支援を継続していく。

問　サル檻の設置状況と今後の維持管理は。

答　昨年度、大型のサル檻を3基購入、沢田、桜井、一色に設置し、桜井地区で9頭のサルを捕獲した。檻の増設は管理等負担がかかるため、要望があれば協議していきたい。

大型のサル檻（桜井地内）

コロナ禍・ワクチンは

町長 高齢者優先で全力で取組む

◆小寺　光信　議員

65才以上高齢者優先で7月末には接種完了予定。高齢者優先接種での教訓を生かし、一般ワクチン接種は入荷次第で確実な予約案内で進める。

問　65才以上高齢ワクチン接種案内は。

答　本年2月から、厚生労働省の指導によりワクチン接種確保体制を構築して進めた。接種券の発送については、ワクチンの入荷時期や供給量が4月中旬以降も不透明な状況が続き、接種の体制も流動的である中での発送で有った為、接種予約の前半は予約希望者が殺到し、一時的に混乱を招いてしまった。

中央公民館ワクチン接種会場

問　高齢者ワクチン接種体制と状況は。

答　養老郡医師会、区長会、町行政が協働して取り組んだ。高齢者の優先接種で案内をしたがワクチンの入荷量が少なく予約混乱が生じたが接種は6月16日ではほぼ順調に進み7月下旬には程無く終了予定。

問　一般ワクチン接種案内は。

答　先の教訓を生かして年齢別で、ワクチン確保量と照らし予約混乱の無い様に進める。

地方創生テレワークの推進は

町長 町施設の改修により進める

国のまち・ひと・しごと創生方針に沿って補助金を活用し、施設改修後に企業及び個人のテレワーク推進に繋げる。

問　テレワーク施設は。

答　国からの交付金を活用して地域福祉センターを改修する。公募型プロポーザルにより設計・施工並びに管理・運営方法の提案を含めた一括発注し、利便性の高い改修にする。

問　具体的内容は。

答　打合せ兼テレワークコーナー、ミーティングルーム、レンタルオフィス、コワーキングスペース、宿泊施設、託児施設、共同キッチン、食堂等の予定である。

改修予定の地域福祉センター（若宮地内）

問　施設利用の対象は。

答　都市部の企業、個人の働き手がテレワークを活用し、地方のサテライトオフィス等で、仕事を行う方々。

問　全国へのPRは行うのか。

答　中部圏のみならず関西・関東等含めて広い範囲でPRして利用者確保に繋げる。

ほかに「行政の内部統制について」の質問もしました。